※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　教養科

教科	教養	科目	日本語基礎２	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作プリント・日本語能力試験問題集等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・目標とするレベルに応じた単語や文法を学習しながら、一般的な話題に関する読み物を読んだり、会話やニュースなどを聞いたりして勉強します。
・第１回授業時にファイルを配付します。授業プリント等を整理し、各自復習等に用いましょう。
・単元ごとの「パフォーマンス課題」や、学習の振り返りをするために「振り返りシート」を記入してもらいます。記述内容や課題の取り組み具合はすべて評価の対象とします。しっかり取り組みましょう。
・授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせず、しっかりと出席しましょう。

２　学習の到達目標

(1) 日本語能力試験 N3 の問題を活用した学習を通して、基本的な文法・漢字・語彙を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる知識・技能を身につける。
(2) 日常生活で用いられる日本語の語句や文、文章を読んで理解したり、会話を聞いて必要な情報を聞き取ったり、話の流れや要旨を的確に相手に伝えたりすることができるようになる。
(3) 日本語を使って自分の考えや思いをアウトプットしたり、コミュニケーションをとったりする能力を高めようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語能力試験 N3 の問題を活用した学習を通して、基本的な文法・漢字・語彙を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる知識・技能を身につけている。	日常生活で用いられる日本語の語句や文、文章を読んで理解したり、会話を聞いて必要な情報を聞き取ったりできるようにする。また、話の流れや要旨を相手に伝えられるようにする。	日本語を使って自分の考えや思いをアウトプットしたり、コミュニケーションをとったりすることに積極的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本語文法入門	日常生活を送る上で必要かつ基本的な表現を、話したり書いたりできるようになる	a: 平仮名、カタカナの定着を図り、聴く、話す、読む、書くなどの技能の基礎を身に付けている。基本的な語彙や表現の日本語文章を読んで理解している。 b:日常的な場面でゆっくり話される会話を聞いて理解できる。基礎的な日本語で自分の言いたいことを話したり、書いたりして積極的に伝えようとしている。 c: 日本語の特質について理解を深めようとしている。	ワークシート 小テスト	レポート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 授業態度
	日本語文法発展・漢字・語彙	適切に日本語を運用するために必要な文法・漢字・語彙の確認	a:基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。b: ある程度の長さの文を読み理解することができ。 b:基本的な漢字や定型的な語句を身につけている。 c: 日本語の音の特徴について学び、日本語らしい発音を目指そうとしている。	ワークシート 小テスト	レポート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 授業態度
	文章構成理解・短文作成	適切に文章を書くために必要な文章の構成を理解し、短文を書く	a: 短い文章について段落をわけて書くことができる。 b: 日常生活を送る上で必要かつ基本的な表現を、話したり書いたりすることができる。 c:基礎的な日本語で、適切な文法事項に従い、自分の言いたいことを話したり、書いたりして積極的に相手に伝えようとしている。	ワークシート 小テスト	レポート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

後期	文章読解	文章を読み、要点を理解する	a:短い文章の速読や必要な情報を見つけることができる。ある程度の長さの文を読み理解することができる。 b:短い文章を読んで、内容を要約して伝える力を身につけている。目的に合わせた読み方ができる。 c:基礎的な日本語を使って自分の考えや思いをアウトプットしたり、コミュニケーションをとったりすることに積極的に取り組もうしている。	ワークシート 小テスト	レポート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 授業態度
	課題作文	さまざまな課題に応じた作文を書く	a:多くのテーマについて段落構成を考慮した簡単なレポートを書くことができる。 b:自分自身や家族、友人について、さらに日常生活にある事象について複文や段落単位で口頭と筆記を通して表現できる力を身につけている。 c:日本語の表記の仕方や文体、正しい構造の文など、基礎的な文単位の文章から段落を意識し構成の整った客観的文章を書くことを目指そうとしている。	ワークシート 小テスト	レポート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度